



Subaru

男声合唱団 ニューズ№535

'15. 11. 24

「2015 日本のうたごえ祭典 in 愛知」 大祭典 7,500 名が参加！！

11月21～
23日

□「2015日本のうたごえ祭典 in 愛知」は「被爆・戦後70年—今あなたとうたいたい—」のメッセージのもと、全国からうたごえの仲間が集まり、21日の「特別音楽会」の多彩な曲目の演奏披露、そして「一般A」「職場」「小編成」「交流」の4つの「合唱発表会」に始まり、2日目は日本ガイシホールで、7,500名（主催者発表）の「大音楽会」が開催されました。

□昂のメンバーは「大音楽会」に参加すべく集まりました。また前日の「特別音楽会」の交響曲「炎の歌」（外山雄三作曲）を作曲者自身が指揮をする合唱団にもメンバー有志が参加しました。



□「今あなたと歌いたい」の開幕のうたごえで幕は開きました。500人の創作太鼓「あゆちの太鼓」が会場に鳴り響き“あゆちの風”は幸福の風、平和で豊かな国づくりのころざし、世界へ！人々とうたい、生きる喜びを！音楽のちからを！開幕だ！と・・・そして「We Shall Overcome」「青い空は」を作曲者の大西進さんの指揮で歌われました。被爆70周年愛知に住む2,200人の被爆者、4名の被爆認定訴訟の一人のかたがうたごえで訴えに来られていると報告されました。

□第1ステージでは、「共に生きよう」のテーマで「世界の子供たち・若者たちのステージ」として、女子高校のダンス部のダンスの演舞、日本で働くベトナムの女性の踊り、そして在日韓国人3世・4世の朝鮮学校の生徒たちの「コヒャンエポム（故郷の春）」の元気で晴れやかな合唱が披露されました。

つづいて、愛知で生まれた合唱構成曲「ぞうれっしゃがやってきた」を、アジア各国の子供たちも参加して2000人の子供たちが大合唱し、会場に大きな感動を呼び起こしました。

□第2ステージの「いのちひからせて」では、原発事故で避難生活が続く福島の人たち、南相馬市の小高中学校の創作合唱曲「群青」を、作曲者の小田美樹さんの指揮で中高生が熱唱し、離れてしまった仲間に出会いたい、「また会おうね!」と願う気持ちを届けました。（この「群青」は今日本の若者たちや合唱団の中で人気のある作品として取り上げられ歌われています。）

また、沖縄に住む仲里幸広さん(シンガーソングライター：ユキヒロ)が、「基地はいや!住んでいる近くに基地のあるのはいや!未来を担う子供たちにつらい思いをさせたくない、アメリカの軍事基地のない平和な沖縄を!」また「武器は持たない!という先人の決意を語り継ごう」と、そして「平和・地球の未来・じぶんの生き方をうたおう!」と若い人たちの心意気を歌い上げている「HEIWAの鐘」を熱唱しました。また、辺野古の基地の問題で闘っている沖縄の現地から、連帯の熱いメッセージが大画面をとおして会場に届けられました。辺野古の「全国の力が必要だ!」との声に、会場からは「沖縄を返せ」のかづよいうたごえを響かせ応えました。



□第2ステージでは、特別出演として、ウクライナのシンガーソングライター、ナターシャ・グジーさんを迎えて、グジーさん作詞作曲の「踊る娘」とカタロニア民謡「鳥の歌」を柔らかな美声で歌われました。3曲目の新曲「希望の大地」を女性のうたごえ合同合唱団と共演されました。

女性は引き続き、今こそこの歌をと「君死にたもうことなかれ」を歌い上げました。

□第3ステージ「うたごえは生きる力」では、コカリナという珍しい楽器のソロと合奏で「鳥の歌 カタロニア民謡と原爆許すまじ」「ひばり」「ユー・レイズ・ミー・アップ」を演奏されました。独特の哀愁のある音色がその歌の持つ曲想を見事に引き出し、聴衆の耳に響きました。

最後に「全国合同合唱団」500人が、守屋博之さんの指揮で「春の祝福」「芦別の雪の中を」の2曲を、そして池辺晋一郎さんの指揮で「地球の九条もしくは南極物語」「奪われし初恋」最後に黒人霊歌「アメージンググレース」（日本語詞：山の木武志、編曲：池辺晋一郎）を、「被爆・戦後70年目の節目の祭典にうたう曲として、争いと憎しみの連鎖の絶えない現代の世界における私たちの未来への思いや決意をうたい上げる歌として」ふさわしい歌。全国から集まった500人の団員たちが心をつなげて見事な大合唱を会場いっぱいに響き渡らせました。



「昂」「春を待つ」「道」を熱唱!銅賞を受賞!!

合唱発表会 一般の部(B) 11月23日

□昂は「春を待つ」「道」で合唱発表会(一般の部 B・出演団体 25 合唱団)の舞台に立ちました。

「春を待つ」は来年1月30日のコンサートのオープニング曲として、「道」はコンサート第2部のロシア民謡の中心の曲として位置づけ、また今回の大切な曲としてレッスンに励んできました。合唱発表会の直前のレッスン(11月20日)では、この2曲を2時間かけて集中して練習し、当日に臨みました。参加者は全36名でした。

リハーサル時に、指揮者の本並先生は、「美しい声で、リズムとメロディを合わす」ことを前提に、「明るい顔で! 男声合唱団「昂」らしい、怒鳴るのでなく縦の声で、元気なボリュウムのある声を遠くに飛ばそう!」と団員を激励されました。本番では集中力のある合唱を響かすことができ、見事銅賞の榮譽に輝きました。来年のコンサートの励みになる賞として喜ばしい限りです。



なお、大阪で入賞した団体は以下の通りです。

一般の部 A 銀賞 コール大東 銅賞 関西合唱団青年部 Peace & Amuse

一般の部 B 金賞 関西合唱団 銅賞 男声合唱団「昂」

職場の部 金賞 衛都連合唱団(自治体)

金賞 国鉄大阪合唱団号笛

さわやか賞:うたごえサークル相川保育園

女性の部 金賞 レガーテ 銅賞 うたごえサークルぐみの木

小編成の部 金賞 Shu♪Shu

金賞 ヴォーカルアンサンブル AVANTI

(参考) 一般の部 B 金賞 三多摩青年合唱団 金賞 関西合唱団
銀賞 埼玉合唱団 銀賞 名古屋青年合唱団
銅賞 京都ひまわり合唱団 銅賞 絹の道合唱団
銅賞 男声合唱団「昂」 銅賞 広島合唱団